# STYLING AWARD (JUTY-LIVIL)

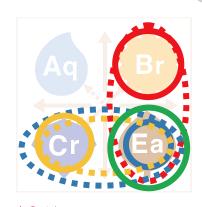
①モデルの外面的個性をチェック







# 外面分析結果(似合う)



赤○は色、青○は形、黄○は素材、緑○はトータルの外面的個性のマッピングをしてください。

色: 目の色は茶色、血色がオレンジ、髪色は茶色でブライトテイストに属している。

ただ、肌の色が割り方暗めなのでアース要素もあためウォームゾーンに位置する。

形: 眉は直線的だが、目・鼻・口・輪郭・骨格は曲線的で大きさも全体的に大きく骨格も太いためアーステイストに属している。鼻や 彫の深さ・なで肩であることからややクリスタルテイストも入っている。

素材: 目や髪のツヤの印象が強くコントラストゾーンであるが、肌はマットよりで肌が厚いということもありクリスタルテイスト強めのディープゾーンに位置する。

トータル: 色・形・素材、一番強いテイストはそれぞれバラバラだが、色と素材の部分でアーステイストも混ざっているため、全体に見たときにアーステイストが強く出ている。

# STYLING AWARD (TUTY-LIVIL)

②モデルのウィッグ



# STYLING AWARD ( TUTT- LIVIL)

③スタイリング提案テーマ

## なりたいスタイリングイメーシ

# コミュニケーションタイフ



普段Theブライトテイスト! Theアーステイスト!といっ た服装をしないから自分に合 ったスタイリングをして欲し い。

黒や白のモノトーンコーデが 多く、あまり派手な柄や色は 着ない。



モデルにコミュタイ プ分析シートを書き 込んでもらうか スタイリストがモデ ルのタイプを観察し てどのような個性か 書き込みましょう!

## スタイリングテーマ

# 世界最大の夏フェス「サマーフェスト」参戦コーデ

### このテーマにした理由

世界中から音楽と人が集まる『サマーフェスト』は、自由と個性が輝く場。そこで目を引くようなビビッドな色使いと、自然や民族的要素を感じさせるアーステイストを組み合わせることで、開放的でポジティブな空気感を表現しました。コミュニケーションタイプ「ブライト」らしく、人と関わるのが好きで盛り上げ役にもなれる明るい性格を、カラフルなトップスやアクセサリーに込め、音楽とファッションを通して、自分らしさを最大限に楽しむ夏フェスコーデにしました。





サマーフェストの熱気と高揚感を表現するため、ビビッドカラーのトップスを主役に。民族柄やビーズアクセ、フェザーモチーフなど、ナチュラルで土っぽさのあるアーステイストを取り入れ、フェスの自然な雰囲気ともリンクさせました。足元は動きやすさと個性を兼ね備えた編み込みサンダルで、リラックス感をプラス。カラフルな小物やバンダナをアクセントにすることで、明るく元気な「ブライトタイプ」の魅力が際立つコーディネートに仕上げました。

- ・チロリアンハット ノーブランド
- ・サルエルパンツ チャイハネ
- ・バンダナ ノーブランド
- ·ブレスレット① presse

- ・サマーニット ヨシユキサコニシ
- ・サンダル KEEN メンズユニーク
- ・ネックレス イーグルフェザーネックレス
  - ・ブレスレット② チチカカ

# STYLING AWARD < TUTT- LIVIL>

④スタイリング提案



# STYLING AWARD ( TUTT- LIVIL)

⑤まとめ

### モデルからのコメント

パーツ全体的にブライトよりかと思っていたら所々でクリスタルやアースが入っていて自分の分析をあまりしないので意外なことが多かったです。アクアがひとつも無かったのが面白かった。

自分は普段モノトーンのコーデしか着ないので赤やオレンジなどがはいった服は初めてなので冒険味をよく感じてすごく挑戦してみたいスタイリングだなと思いました。バンダナやハットも普段つけないので是非つけてみたいと思えるスタイリングだと思いました。全体的に自分の新しい姿を感じれるスタイリングとか分析だったので良い自分分析になったかなと思ったのとこーゆーのも挑戦できるんだと新しい発見にも繋がったので良かったです。

## スタイリストの感想

今回のスタイリングでは、モデルの持つブライトさとアース要素のバランスに苦戦しながらも、外面分析の結果を活かして「本人らしさ」を大切に したコーディネートを意識しました。

普段はベーシックなトーンを好むモデルでしたが、サマーフェストという 非日常的なテーマのもと、少し冒険したカラフルなトップスやアクセサリーを取り入れることで、新しい一面を引き出せたと感じています。

分析から見えた「ブライトタイプ」の明るさや親しみやすさが、スタイリング全体にも表れ、音楽とファッションを楽しむ場にふさわしいコーデが 完成しました。スタイリストとして、相手の個性を引き出す面白さと奥深 さを実感できたスタイリングでした。